

竹谷小通信



平成 28 年度
1 2 月号②

平成 28 年度 2 学期の終わりに

北風が強くなり、1枚1枚と葉を落とす木々を見つめ「もう、今年も終わりだなあ」と、感慨深く運動場を眺めていると、それを忘れさせる子どもたちの元気な声が、今日も校舎に響き渡っています。

夏休みが過ぎた頃から子どもたちの体が随分大きくなりました。保護者の方もきっと同じ感想を持たれているのではないのでしょうか。子どもの成長には目を見張るものがあります。当然、それに伴って心の面も成長してきます。今までになかった反抗的な態度。分かっているのかいないのか生半可な返事。親としては、ハラハラ、イライラすることばかりで、気にかかるのですが、そっと、様子を伺っていることしかできません。しかしながら、そういった態度も、成長の一つだと考えます。他の人と同調したり、納得できなかつたりと、自分の心を色々と思い巡らせて初めて人の気持ちが分かっていくのだらうと思います。雪の重みに耐える竹のように、「たおやかな」心の持ち主が、大人になった時に人との対応力として生きてきます。このことこそが、「感性」だと思います。「感性」が豊かであれば、人との関わりの中で、こちらが思っていることと違うボールが飛んできて、上手く受け取り、考えながら直球であったり、変化球であったりと、相手側の様子を見て返すことができるようになるのではないのでしょうか。人との関わりとして大事な「感性」は、教科書に書いていない。誰からも教わることができない。そして、口で伝えることができない難しいものなのです。多くの人と出会い、多くの人と衝突したり揉みあったりすることで「感性」は身につくのです。

大人はついつい「転ばぬ先の杖」として、前持って子どもに手立てを打ちますが、それが返って子どもを駄目にしてしまい、言葉を通して伝えることができなかつたり、考えて行動できなかつたりする子どもをつくることになります。手助けする時はどんな時なのか。今、手立てが必要なのか。見極めることが大切です。見極めは、「どんな子どもに育てたいか」ということです。

18日間お休みがあります。親戚や地域の方々など多くの出会いがあると思います。子育てを楽しんでください。

2学期もご協力・ご支援いただきましたことに、厚く感謝申し上げます。

よいお年をお迎えください。

尼崎市立竹谷小学校
校長 荒木 伸子

尼崎市内の研究授業を本校で行いました。

12月1日（木） 尼崎市小学校情報教育研究会



1年2組 「どんぐりゴマがよくまわる
ひみつをみつけよう」(生活科)

タブレットパソコンを使って、自分で作ったどんぐりゴマの回る様子を動画に撮りました。グループで動画を見ながら、よく回るどんぐりゴマのひみつを考えました。グループで話し合ったり、クラス全体で発表したりしました。

12月15日（木） 尼崎市小学校体育科教育研究会

6年1組 「つなげ！バレーボール！」(ボール運動ネット型)

バレーボールの楽しさとチームとして活躍する喜びを味わうことをめざして、取り組みました。

チームで声（助言・励まし・応援等）を大切にし、キャッチや得点を工夫しながらみんなでするバレーボールで、必死に「つなぎ」ました。



校舎内に飾っていただいています。



いつもすてきです。



あわてんぼうの「とり」ですが、
来年の準備です。